



生きものの“つぶやき”:

「取り残された？オレ、キュウリだよな？」

エッセイ:

僕は毎年、自宅でキュウリを作っている。僕はキュウリの丸かじりが大好きだ。今年は六月に雨が多かったので、7月是一日4～5本も収穫できた。しかし、この夏の異常な暑さのせいで、いくら水をやっても、その後は実は出来なかった。きっと受粉してくれる昆虫が、あまりの暑さに活動できなかったのではないだろうか。九月になり、少し朝晩に温度差が出来始めると、萎れたと思っていたキュウリが、水をやり続けたことで実をつけた。ふと生

い茂った葉の陰に目をやると、この巨大キュウリを見つけた。おそらく、八月中に出来始めたのだろう。なんと 30 cm を超えていた。置き去りにされても、頑張っ
て育っていたのだと思うと、僕は申し訳ない気持ちになった。そして、陰で頑張っ
て成長していたこのキュウリを尊敬した。このキュウリを切ってみると、見た目はヘチマのようであったが、間違いなく
キュウリだった。今年ほど地球温暖化を身近に感じた夏はなかった。(396 字)

生きものの紹介:

名前: キュウリ、ウリ目、ウリ科、キュウリ属

収穫時期: 6 月~8 月

特徴: 『Least calorific fruit』としてギネス世界記録に登録されている。日本語に直訳すると、「最も熱量が低い(ローカロリーな)果実」。となるため、これがいつの間にか「世界でいちばん栄養が少ない野菜」と誤解され、広まったらしい。

栄養価: 水分量 97%、カリウム、ビタミン K、ビタミン C、食物繊維

撮影場所・日時:

自宅の菜園(兵庫県姫路市) 2023 年 9 月 3 日

応募者の自己紹介:

1. 氏名: 中山 瀧平
2. 高校・学年: 兵庫県高砂市 白陵高等学校・1 年
3. 所属: 生物部

審査員からのコメント:

巨大なキュウリから地球温暖化を感じるとはすばらしい。